



十和田市立中央病院

病院ニュース さわらび

平成 28 年 11 月 25 日号



“じゅんちゃん一座”、『社会ボランティア賞』受賞！

業務課



写真中央：竹内淳子座長



会場では写真で紹介も。

当院メンタルヘルス科診療部長 竹内淳子先生率いる“じゅんちゃん一座”が、11月8日（火）に宮崎市にあるシーガイアコンベンションセンターに於いて、「公益財団法人ソロプチミスト日本財団」より『社会ボランティア賞』を頂きました。

11月14日（月）推薦者の国際ソロプチミスト十和田の稲本会長、会員の福田さんと、小山田十和田市長に受賞の報告に行ってきました。座長の竹内先生は「10年後には5人に1人が認知症になると言われています。理解を深めてもらう為に、働きざかりの世代や子どもたちに見ていただき、認知症との上手な付き合い方を知って欲しいです。」と、一座は各施設だけでなく小・中・高等学校でも積極的に公演しています。

平成 23 年に立ち上げて以来、講演は 100 回を超え「全国に広めたい野望があります！」と言う通り、県外へも呼ばれば出向いて活動をしているそうです。

今後、ますますのご活躍を心より応援しています。

受賞、おめでとうございます！



写真左から：清水さん、竹内座長、小山田市長、稲本会長、福田さん



「平成 28 年度緊急被ばく医療合同訓練」が実施されました。

業務課 施設管理係係長 中野渡 満

去る 11 月 11 日（金）に、「平成 28 年度緊急被ばく医療合同訓練」が北部上北広域事務組合消防本部、青森県医療業務課及び日本原燃株式会社との合同により当院地下 RI 室で実施されました。平成 25 年度から毎年実施されているもので、当院からの訓練参加人数は 12 名で、他にも多くの方々が携わり、参加者は真剣に取り組んでいました。



被ばく者の症状確認



被ばく者受け入れ



除染作業及び治療の様子



「十和田地域の災害救急医療を考える会」に参加して

一年次研修医 張 賀冕

講演：演題「十和田消防本部の救急業務の現状について」

講師 十和田地域広域事務組合消防本部警防課参事 川村 宏範 氏

講演：演題「青森県ドクターヘリの現状」

講師 八戸市立市民病院 副院長 今 明秀 氏

事例検討会：発表者 十和田市立中央病院

十和田地域広域事務組合消防本部



11月14日(月) 十和田地域の特に救急医療について、当院において講演会開始から2時間あまりの熱い議論がなされました。

まず、最初の講演として、救急出動の件数については年単位、月単位、時間単位とこういう時に多いといった傾向と合わせて発表がなされました。また十和田市立中央病院でどのくらい受け入れているのかといったことまで具体的な数字を知ることができました。



写真左から：川村参事、今 副院長、当院 竹田先生

次の講演、事例検討会では、特にドクターヘリ運用についての発表がなされました。ドクターヘリの要請基準から始まり、運用状況、不搬送となった事例等、たくさんの質問が飛び交う時間となりました。119番通報された時点で判断を行う消防署、現場で判断を行う救急隊、電話口で判断したり、病院に搬送されてから判断したりする医師・看護師、それぞれの立場からの意見が聞けてとても面白い時間でありました。それとともに、十和田地域の救急医療について、病院、消防が一丸となってやっっていこうとする熱意が感じられる講演会となりました。

最後に、八戸市立市民病院副院長の今先生をはじめ、消防本部からは川村さん、当院の先生や看護師さん、症例と合わせた貴重な講演、事例検討会をありがとうございました。



質疑応答の様子



寄贈・ご寄附をいただきました。

業務課 施設管理係

11月16日(水)に、『百切会(代表：岩城康次様)』様より、チャリティゴルフの益金で「電子血圧計」2台のご寄附を頂きました。これまでも『百切会』様からは、車椅子6台のご寄附など、多大なるご協力を頂いております。

病棟等で使う電子血圧計の入れ替えに伴い、早速活用させていただきます。職員一同ご厚意に深く感謝申し上げます。



電子血圧計



写真左から：

岩城代表と優勝者の澤谷さん、松野管理者、接待事務局長



「平成28年度第2回自衛消防訓練」が実施されました。

業務課 施設管理係 竹内 雅紀

11月17日(木) 院内のスタッフ約60名が参加し、消防署員立ち会いのもと自衛消防訓練を行いました。今回は、6階東病棟の病室から火災が発生したという想定です。当日まで、訓練をする場所を知らせないという計画で行われましたが、職員たちは非常用アナウンスが流れる中、大きな声を掛けあい真剣な表情で取り組んでいました。火災の通報、火元の確認、初期消火活動、そして患者様を車椅子やベッドに乗せ避難誘導までを時間内に終わらせなくてはなりません。レスキューシートでの患者搬送や、慣れない事で戸惑った場面もありましたが始終スムーズに行えたのは日頃の訓練の成果と思われます。

消防署の方からの講評では、「タイム的には一応クリアとなっていましたが、火災が起きると停電になることもあったり、煙も予想以上に充満すると思われますので、今の倍の時間がかかると思ってください。指示系統がしっかりされていなかったため、もう少し訓練のやり方を見直していただき、次に繋げて行ってください。」と反省点をしっかり指摘していただきました。

この講評を踏まえ、今後も訓練を重ね患者様の安全を確保できるよう努めて参ります。



煙は手作りの『ケムリン1号』機で演出



出火場所での初期消火活動



患者役の職員も真剣



レスキューシートで搬送準備



非常階段を使って搬送します



訓練終了後、災害対策本部での講評の様子



市民健やかゼミナール『すこゼミ』開催のご案内

『すこゼミ』は市民の皆様へ、健康について気軽に学んでいただくことを目的として毎月開催しています。多数のご参加をお待ちしております。

開催日	演題	講師
12月21日(水)	糖尿病にならにためには	はるひと診療所 院長 片野春人 先生

参加費 無料

時間 16:00~17:00

場所 当院 1階外来待合室



外来担当医表

随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>